

優秀賞

すなおな気持ち、やさしい言葉

島根県雲南市立掛合小学校三年

石崎 いろは

わたしは、学校の勉強で雲南市めぐりをしました。そのときに永井たかし記ねん館に行きました。そこで永井たかしさんのお話を聞いて、せんそうをすることは、とてもかなしいことだし、みんながなかよくなればいいのになと思いました。だから、わたしは、みんながなかよくなるための方法を考えました。

わたしには、小学一年生の弟がいます。いつもはとてもなかよしだけど、この前けんかをしました。弟がお茶をこぼしたので、わたしがかたづけを手伝ったのに、弟は「ありがとう」も言わずにどこかへ行ったからです。そのあと、弟と正しい言い合いになって、わたしは、「あっちいって。」と強く言ってしまいました。言ってからすぐに、「いやなことを言ってしまったな。」と思いました。弟はなきそうになっていました。弟が「ありがとう」を言わなかったのはよくないけど、わたしがいやなことを言うのもよくないなと思いました。だから、わたしはすなおに「ごめんね。」と言いました。そうしたら、弟がえがおになりました。弟からも「ごめんね。」とってもらって、なか直りができました。わたしは、弟といっしょに遊ぶのが大好きなので、また弟となかよしにもどれてよ

かったです。このことから、自分がわるかったなと思ったときは、すなおに「ごめんね。」を言う気持ちで伝えるし、なか直りもできることがわかりました。「ごめんね。」をすなおに伝えることは、みんながなかよくなるための方法だなと思いました。

また、「あっちいって。」みたいに人がきずつくことを言わずに、やさしい言葉を言うことも大切だと思いました。雲南市めぐりのときに、「によこあい人」という言葉をしりました。永井たかしさんは、人のことも大切にしてたんだなと思いました。人がきずつくことを言うと、人がいやな気持ちになるから、やさしい言葉を言うようにしたいです。ほかに、友だちや家族にうれしくなる言葉をかけてあげたいです。うれしくなる言葉を使うと、みんながうれしい気持ちになって、みんななかよしになると思います。やさしい言葉やうれしい言葉を言うために、人のことを大切に思う気持ちを大事にしたいです。

みんながなかよくなるって平和だなと思います。わるかったことはすぐあやまつたり、やさしい言葉を使ったりすることで、家族や友達ともつともつとなかよくなりたいたいです。